

平成29年度第60回福島県中学校体育大会 スキー大会要項

- 1 主催 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 猪苗代町教育委員会
 福島県中学校長会 公益財団法人福島県体育協会 福島県スキー連盟
- 2 後援 猪苗代町
- 3 主管 会津地区中学校体育連盟
- 4 期日及び競技日程 (クロスカントリー、アルペン) 平成30年1月15日(月)～1月17日(水)
 (スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド) 平成30年1月8日(月)

クロスカントリー 競技	1月15日 (月)	9:30 開始式 引き続き 役員・監督会 12:00 女子フリー(3km) 13:00 男子フリー(5km) 競技終了後 表 彰	猪苗代町クロスカントリースキーコース
	1月16日 (火)	10:00 女子クラシカル(3km) 11:00 男子クラシカル(5km) 競技終了後 表 彰	同上
	1月17日 (水)	9:30 女子リレー(3km×3) 10:30 男子リレー(5km×4) 競技終了後 表 彰 終了後 選手選考会	同上 猪苗代中学校
アルペン競技	1月15日 (月)	14:00 開始式 引き続き 監督会	猪苗代スキー場ミネロ
	1月16日 (火)	10:00 女子スラローム(1本目) 男子スラローム(1本目) 女子スラローム(2本目) 男子スラローム(2本目) 競技終了後 表 彰	同上
	1月17日 (水)	10:00 女子ジャイアントスラローム(1本目) 男子ジャイアントスラローム(1本目) 女子ジャイアントスラローム(2本目) 男子ジャイアントスラローム(2本目) 競技終了後 表 彰 終了後 選手選考会	同上 猪苗代中学校
スペシャルジャンプ・ ノルディックコンバインド 競技	1月8日 (月)	9:30 スペシャルジャンプ 引き続き コンバインドジャンプ 13:30 コンバインドクロスカントリー	御成山公園 ジャンプ場 田沢CC競技場
閉会式	1月17日 (水)	15:00 閉会式(団体表彰のみ)	猪苗代スキー場ミネロ

- 5 会場 クロスカントリー：猪苗代町クロスカントリースキーコース
 (猪苗代町清水尻7134-10)
 アルペン：猪苗代スキー場ミネロ(猪苗代町字見祢山1)
 ジャンプ・コンバインド：御成山公園ジャンプ場(米沢市大字館山御成山1783)
 米沢市営田沢クロスカントリー競技場
 (米沢市大字口田沢字上ノ在家地内外)
- 6 競技種目 【男子】ノルディック種目：クロスカントリー(フリー、クラシカル、リレー)
 アルペン種目：スラローム、ジャイアントスラローム
 【女子】ノルディック種目：クロスカントリー(フリー、クラシカル、リレー)
 アルペン種目：スラローム、ジャイアントスラローム
 【男女】ノルディック種目：スペシャルジャンプ(ミディアムヒル)
 ノルディックコンバインド

- 7 参加資格 (1) 福島県中学校体育連盟に加盟する学校に在学し、学校長の許可を得、健康に異常がないと認められた生徒とする。
(2) 参加生徒の引率は、当該出場校の校長・教員とする。
- 8 参加人数 (1) 各学校からの参加人数は、特に制限しない。
(2) 出場は、1人2種目以内とする。但し、リレーは含めない。また、アルペン種目とノルディック種目は、兼ねられない。
- 9 競技規則 (1) 全日本スキー連盟競技規則による。但し、本要項の定める事項を優先する。
(2) ジャンプ競技及びアルペン競技出場者は、クラッシュヘルメットを着用すること。
(3) コンバインドクロスカントリー競技は、S A J 得点換算表によって計算し、グンダーセン方式で実施する。
(4) 同タイムの場合、アルペン競技は出走順の遅い方、クロスカントリー競技は出走順の早い方を優位とする。
(5) リレーは男子7名、女子6名以内(男子走者4名、女子走者3名)で構成すること。男子の走法は、第1・第2走者がクラシカルテクニック走法とし、第3・第4走者がフリーテクニック走法とする。女子の走法は、第1走者がクラシカルテクニック走法とし、第2・第3走者がフリーテクニック走法とする。
(6) クロスカントリー競技のクラシカルレースは、クラシカルテクニック走法とする。また、コンバインドクロスカントリー競技は、フリーテクニック走法とする。
(7) クロスカントリーは、5km及び3kmコースを設定するが、降雪やその他の事情によってはその限りでない。
- 10 競技方法
得点 学校対抗形式をとり、得点計算は、各種目1位11点、2位9点～10位1点とする。総得点が同点の場合は、上位入賞者の多い方を優位とする。
- 11 表 彰 (1) 各種目の1位～3位の入賞者には賞状とメダルを、4位～8位の入賞者には賞状を授与する。
(2) リレーの1位～3位のチームには、出場した男子4名分、女子3名分の個人賞状も授与する。(4位以下のチームは学校用1枚とする。)
(3) 学校対抗については、男女とも優勝校に優勝旗(持ち回り)を授与する。また、男女総合、男子総合、女子総合の各6位までに賞状を授与する。
(4) 閉会式団体表彰は、入賞校の競技参加生徒または顧問が出席する。
- 12 参加料 (1) 参加料は、1名1,000円とする。
(2) 参加協力金は、1名2,000円とする。
(3) プログラムは、1冊1,000円で販売する。
(4) 参加記念章は、1個350円で販売する。
※ 代金は、すべて申し込みと同時に一括納入すること。
- 13 参加申込 (1) 各学校は、参加申込書一式(申込一覧表、個票、出場承認書)、参加料、参加協力金、参加記念章代、プログラム代を平成29年12月27日(水)午前10時必着で下記の大会事務局まで提出する。なお、個票にはランキングを必ず記入すること。記入していないときは、異議を認めない。また、競技者登録をしている選手については、S A Fコード番号を必ず記入すること。
(2) ジャンプ競技に出場する選手も、大会事務局へ申し込むものとする。
- | |
|--|
| <p>【大会事務局】
〒969-3133
福島県耶麻郡猪苗代町千代田字中島5番地の1 猪苗代中学校内
第60回 福島県中学校体育大会スキー大会事務局
電話0242-62-3312 FAX0242-62-3392</p> |
| <p>【参加料等振込先】
金融機関：東邦銀行 西福島支店
店番号：123 口座番号：362164
口座名義：県中体連スキー部会長 渡部博之(わたなべ ひろゆき)</p> |
- (3) 各学校は、「参加希望調書」に必要事項を記入し、平成29年10月25日(水)必着で、各支部中体連事務局にFAXまたはメール、郵送、直接持参すること。
- 14 宿 泊 (1) 大会に参加し、宿泊を要する出場校は、宿泊・昼食申込書に必要事項を記入の上、平成29年12月15日(金)まで猪苗代観光協会に申し込むこと。なお、適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、学校単独で直接宿泊先に連絡することがないように注意すること。(指定外の宿泊施設の利用は認めない。)
(2) 大会役員・競技役員の配宿は、大会事務局で行う。

(3) 宿泊料金は、平成29年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金表中学生による。

15 抽 選

- (1) 平成29年12月27日(水)午前10時00分より大会事務局で行う。
 (2) 各種目とも抽選要項により行い、前年度10位までの入賞者については、特別シードとする。アルペンの選手については、SAFポイント最新版の上位より出走順を決定する。

16 そ の 他

- (1) 全国大会・東北大会出場について
 ① 出場選手選考については各競技ごと、競技終了後に行う。
 ② 全国大会
 【アルペン、クロスカントリー】 平成30年2月8日(木)～11日(日)
 秋田県鹿角市花輪スキー場
 【ジャンプ・コンバインド】 平成30年2月8日(木)～11日(日)
 秋田県鹿角市花輪スキー場 花輪ジャンツェ、クロスカントリーコース
 ③ 東北大会
 【アルペン】 平成30年1月29日(月)～31日(水)
 蔵王温泉スキー場
 【クロスカントリー】 平成30年1月29日(月)～31日(水)
 蔵王高原坊平クロスカントリーコース
 【ジャンプ・コンバインド】 平成30年1月27日(土)～28日(日)
 米沢市御成山公園ジャンプ場、米沢市宮田沢クロスカントリー競技場
 ④ 全国大会・東北大会の参加申込書、出場承認書には校長の職印を押印の上、参加料等を添えて選手選考会終了後に提出すること。
 ⑤ 全国大会・東北大会出場人数は、下記のとおりとする。

種 別	種 目	全国大会	東北大会
ノルディック	男子 クロスカントリー (フリー) クロスカントリー (クラシカル) リレー	6 6 1	10 10 2
	男女 スペシャルジャンプ ノルディックコンバインド	4 4	フリー フリー
	女子 クロスカントリー (フリー) クロスカントリー (クラシカル) リレー	6 6 1	8 8 2
アルペン	男子 スラローム ジャイアントスラローム	8 5	10 10
	女子 スラローム ジャイアントスラローム	4 4	8 8

☆リレーの出場について
 「全国大会」
 ○県代表1チーム7名。
 ・クラシカル競技及びフリー競技の上位入賞者より、選考会において選出する。
 「東北大会」
 ○県代表2チーム
 ・2位までの入賞校。

- ⑥ 選考された選手は、福島県選手団の参加要項に従って行動することになるので、全国大会・東北大会のための直前の合宿も含めて引率(当該校の校長または教員)が必ずつくこと。引率できない期間がある場合は、引率可能な期間のみの大会参加となる。
 (2) コース整備及びコース開放について
 ① 競技役員は、第1日目及び第2日目、第3日目競技終了後のコース整備に、必ず参加すること。
 ② 参加校は、各セクションからの「庶務連絡事項」に示されたタイムスケジュールに従って事前練習やコース説明会に参加すること。
 (3) その他
 ① 大会期間中の負傷・傷害については、「独立行政法人日本スポーツ振興センター法」の定めを適用する。
 ② 出場選手は、万一の事故発生に備え(相手にけがを負わせる場合が考えられる。)、スキー傷害保険・スポーツ傷害保険等の傷害保険に必ず加入していること。
 (4) 競技役員の協力について
 ① 大会に参加する学校は、各種目(クロスカントリー、アルペン)に、最低1名は競技役員として協力すること。(旅費宿泊費、昼食代については各学校負担)
 ② 大会事務局及び各競技部から指名され、選手引率を兼ねない競技役員は、各競技部の予算より旅費、宿泊費を支出する。
 ③ 大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。

17 連 絡 先

県・開催地区専門部委員長 古川 博之(東中:0242-66-2329)